

印刷の未来とAIが生成できないもの

さあ、はじめました。全青協カポッドキャストによろこそ！私は、全国青年印刷人協議会の議長を拝命しております。大阪の新星印刷株式会社、西岡天芳です。

さて、今回は、今期の全青協活動テーマ「地域変態計画～アツギベンチャーが未来を変える～」によせて、「印刷の未来とAIが生成できないもの」について考えたいと思います。

生成AIの登場で、従来のビジネスモデルが長続きしなくなっているのは明らかです。これからの時代、生成AIとの協働はあたりまえになり、生成AIにできることをやっているだけでは、仕事が立ち行かなくなってしまうでしょう。では、生成AIは万能なのでしょうか。AIで生成できないものってないのでしょうか。AIが生成できないもの、私見ではありますが、例えば、土地、歴史、プロセス、つながり、信用などではないかと思えます。

印刷業界は100年企業が多数存在している稀有な業界です。昨今では、業界の出荷額や、ペーパーレスなどの負の側面ばかりに目を向けがちですが、別の視点から見ると、AIが生成できない強みを持っている可能性が非常に高いのです。この優位性は計り知れません。先代から受

け継いできた強みを活かさない手はありません。

もはや、危機感主導の意識変革ではなく、このチャンスを活かすことが重要です。この強みを活かした第二創業、すなわちアツギベンチャーになるべきでしょう。もちろん、簡単なことではないと十分に認識しています。自分や社内の現状維持バイアスに抗うには膨大なエネルギーが必要であり、不確定な未来に踏み出すには大きなプレッシャーに立ち向かわなければなりません。しかし、だからこそ、我々若手経営者には仲間の存在が不可欠なのです。そんな仲間たちと共に、先代から受け継いだ価値を、独自の視点と熱意、そして業界や地域の仲間とのコラボレーションを通じて、未来を具体化していくことが求められています。AIにできないことに注目し、印刷業界の強みを活かしながら、新たな価値を創造していくことが私たち若手経営者の使命なのです。未来は私たち次第で変えられるのです。さあ、共に未来を切り拓いていきましょう。

このページにポッドキャスト QRコードを掲載しておりますので、是非ともアクセスして全青協の活動を身近に感じてみてください！それでは、続きは、カポッドキャストで。

さよ～なら～。

